

ウェルフェア イズ ラヴ♡

2026 年 8 月 13 日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ✿）

よく「注意欠如多動症」の子どもには、「走ってはいけません。」等の否定的な言葉掛けではなく、「歩いて下さい。」等の肯定的な言葉掛けをしましょう。と言われます。当事業所代表は、「そうだよね。我々は福祉人だもの。否定的な表現を使うべきではないよね。」と、精神論的な認識をしておりましたが、これには科学的根拠があったのです。先日の『福祉新聞』で、小児科医の方がコラム的記事として記しておりました。要約すると…。

「走ってはいけません。」のような否定形の指示を受けると、相手は①一度「走る」という行為をイメージしてから、その行動をしてはいけない。と、②イメージした行動を“打ち消す”という２段階の処理が必要になるのだそうです。そして、“打ち消す”ためには、「脳の特別な働きが必要で、特に子どもにとっては難しい処理となります。子どもは肯定的な指示に比べて、否定的な指示の後に反応が遅れることが確認されており、ADHD（注意欠如多動症）の子どもでは、この傾向がさらに顕著でした。」とのこと。

また、「走ってはいけません。」という指示を、「“走る自由”を奪われた」と感じてしまうと、かえって走りたい気持ちを高めてしまう（「心理的リアクタンス理論」というそうです）ということもあるとのこと。

そのうえで記事には、「禁止が正当か不当かによって、子どもの反応は異なります。不当な制限は即座に反発を引き起こしますが、正当な制限の場合は、子どもはまず状況を理解してから反応します。つまり、なぜ禁止されているのかを説明することが大切なのです。」と、記されていました。現場で当たり前のように言われていたことではあるけれど、改めて「科学的根拠」を知ることが出来、目から鱗でした。

🗨️ スタッフのヒトリゴト 🗨️



我が家は最近、某生協の宅配サービスを継続的にお願いしているのだけれど、商品カタログの中に、『シュガーバターサンドの木』というお菓子が記載されており、息抜きに注文してみました♡

♡LOVE のラブラブな実践♡

出入国在留管理庁が、永住許可に関する 2 本のガイドライン案に対するパブリックコメントを 9 月 3 日まで募集しています。

- 「永住許可に関するガイドライン改定案に係る意見募集について」
- 「永住者の在留資格の取消しに関するガイドライン案に係る意見募集について」

当事業所も、「永住許可に関するガイドライン改定案」に関して、いろいろと想うところがあり意見提出させて頂きました。

また、出入国在留管理庁が実施しているパブリックコメントとは別に、「特定非営利活動法人 移住者と連帯する全国ネットワーク」という団体様が、様々なアクションを起こされております。

詳細は当事業所 HP にブログ記事として投稿しておりますので、宜しければそちらをご覧くださいと幸いです。宜しくお願い致します。

[永住許可関連の 2 本のガイドラインに対するパブリックコメント](#) | [社会福祉士相談所 LOVE](#)

県内の福祉イベント案内 他♪

高松市が毎年開催している、「知的障がい者青年教室」（通称：スキップクラブ）では、年間を通してボランティアスタッフを募集しております。

当事業所代表も、個人としてボランティアスタッフ登録しており、今年で 8 年目になります。

出来る限り、受講生とボランティアがマンツーマンで対応出来る状況が好ましいため、多くのボランティアの力が必要になるとのことです。ご関心がおありの方は、是非ご検討されてはいかがでしょうか。

[高松市知的障がい者青年教室「スキップクラブ」ボランティア募集について](#) | [高松市](#)

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町 1562 番地 伏石ハイツ第 1 201 号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

[転載や拡散、配布大歓迎！！](#)

[来週号も乞うご期待♡](#)